

中小企業の市場開拓を支援します

”デフレ”や”高齢化・人口減少による市場の縮小”と言われています。こうした逆風の中、中小企業には“創意”と“工夫”、そして“チャンスを活かす力”が求められています。

1. 市場開拓のプロによる講演会を開催

“市場を創造する中小企業”と題して2日間の講座を開催します。目玉と言うべき講師は、島根県雲南市から招く株式会社吉田ふるさと村の高岡裕司専務と横浜を拠点とする経営コンサルタントの竹内幸次氏です。

株式会社吉田ふるさと村は合併前の吉田村のときに過疎の村を元気にしようと村民と村が出資して作った会社で、当時村民が1口5万円出資して村民だけで1,750万円も集まりました。そして、この会社が全国的に話題になったのが、2002年に売り出した日本初の卵かけごはん専用醤油“おたまはん”です。初年度3万本であったものが、マスコミに取り上げられるなどの効果もあって06年度には52万本、1億円の売り上げを達成しました。村民たちの作った会社としては快挙とも言うべき出来事でした。この講演会では、どのようにアイデアを発想し、そして市場を開拓して行くのかを披露してもらいます。

コンサルタントの竹内幸次氏は、TBS系の朝のラジオ番組「生島ヒロシのおはよう一直線」にコメンテーターとして登場する方で、明快な語り口が大評判で、同氏が講師を担当した神奈川県商工会連合会の創業塾が2008年度創業塾満足度全国1位を獲得しているほどです。「成功する製品開発とは」について講演してもらいます。

12月4日の講演会の後ではこれら二人の講師も参加する懇親会が行われ、様々な情報を得る絶好の機会となります。

2. 市場創造を支援する「地域ブランドクリエイター」を認定

福島大学地域ブランド戦略研究所は10月1日付で地域ブランドクリエイター第1期生36名を認定しました。

リーダーを待つではなく「リーダーを育成する」

地域の資源を活かした商品作りまたは、観光地づくりによって地域を活性化しようとしている自治体や商工会議所・商工会などを支援するために、今年の6月から8月にかけて、「第1回地域ブランドクリエイター養成講座」を開催しました。

地域の特産品あるいは観光の目玉を創り出すことで地域を活性化しようとする動きが各地で見られる今日、こうした「地域ブランド」づくりで成果を出しているところには必ずと言っていいほどリーダー的な人材の存在が

ありました。これらリーダーはカリスマなどとも呼ばれることがあります。しかし、リーダー的人材が偶然に登場するのを待っているだけでは、地域は何年たっても活性化しません。「待つのではなく育成して行く」趣旨で本講座を開催しました。

地域ブランドクリエイターの会員組織として経営戦略研究会を発足させました。情報交換の場を設けたり、セミナーを行うことで、地域間の協力や連携によって「ブランド化に向けての活動」のシナジー効果を創り出して行きたいと考えています。

第1期認定者 36名の内訳

組織別
自治体 9名
商工会など公的機関 9名
金融機関 9名
企業など一般 9名
男女別
男性 30名 女性 6名
年齢別
最少年齢 24歳 最高年齢 62歳
平均年齢 44歳

自治体	伊達市役所	3名
	郡山市役所	1名
	南相馬市議会	1名
	白河市	1名
	白河市企画政策課	1名
	福島県	2名
金融機関	東邦銀行	3名
	大東銀行	3名
	二本松信用金庫	1名
公的機関	福島信用金庫	2名
	JAしらかわ	1名
	JAみちのく安達	1名
	NPO法人いいざかサポーターズクラブ	1名
	奥会津振興センター	1名
	株式会社ゆめサポート南相馬	1名
	小川町商工会	1名
	川前町商工会	1名
	棚倉町物産振興会	1名
	団体職員	1名
一般	(有) 空中庭園	1名
	たまた商会株式会社	1名
	株式会社夢づくりいしかわ	1名
	郡山観光運輸株式会社	1名
	行政書士	1名
	香璃夢の会	1名
	柳津温泉 花ホテル滝のや	1名
	有限会社 三経ビジネス	1名
	有限会社福島保険センター	1名